

講義名	日本事情 B【留学生科目】		
科目区分	留学生		
担当教員	小畑 徳彦		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1 年生	単位数	2
		講義コード	43023

主題と概要

留学生を対象とし、日本の政治と経済について学び、自分の国との共通点や相違点について考えてもらうことを目的とします。まず、憲法に定められた日本の国家機構、基本的人権、社会保障制度、平和主義と安全保障等について学びます。その後、現在に至るまでの日本経済の発展の歴史を振り返り、現在の日本の産業の状況を概観し、問題点及び今後の課題を考えることとします。また、学生の興味やそのときの社会情勢に応じ、いくつかのトピックを取り上げることも考えます。

到達目標

日本の政治経済の仕組みと現状について、基本的な事項を理解し、自分の国との共通点及び相違点について考える。

提出課題

毎回問題を出して、その場で書いて提出してもらう。

評価の基準

毎回の授業態度と提出物によって評価する。定期試験は行わない。

履修にあたっての注意・助言他

外国について知ることは、それを通じて自分の国を知ることであります。日本と自分の国のどこが同じでどこが違うのか、その違いはどこから生じているのかということについて問題意識を持って、受け身ではなく積極的に授業を受けてください。新聞等で日本や世界のニュースを知ること大切です。授業中の質問は歓迎します。学んだことは復習し、分からないことがあればオフィスアワーに質問に来てください。

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

毎回レジュメと資料を配布する。
レジュメと授業で使用したスライドは、RYUKA PORTALに掲載する。

<参考文献>
矢野恒太記念会『日本のすがた2019』矢野恒太記念会 1000円
その他、授業の際に紹介する。

授業計画

- 1.日本の国の仕組み(1) 日本国憲法とその基本原理
- 2.日本の国の仕組み(2) 国会と選挙制度
- 3.日本の国の仕組み(3) 内閣、裁判所
- 4.基本的人権(1) 平等権、自由権、参政権
- 5.基本的人権(2) 社会権、日本の社会保障
- 6.平和主義と安全保障
- 7.日本経済の概要
- 8.日本経済の歴史(1) 開国～産業革命
- 9.日本経済の歴史(2) 第一次世界大戦～第二次世界大戦
- 10.日本経済の歴史(3) 戦後復興～経済大国化
- 11.日本経済の歴史(4) バブル経済～現在
- 12.日本の産業(1) 製造業等
- 13.日本の産業(2) サービス産業
- 14.日本の産業(3) 農林水産業
- 15.日本と東アジア諸国の歴史と未来

予習・復習

授業で配布したプリントとスライド(RYUKA PORTALに掲載)を利用して復習してください。(各回2時間)
授業で紹介する参考文献を読んでください。(各回2時間)

備考